

# 事例 11 思考展開シート

## (1) 疾病や薬の副作用等の影響は考えられますか？

- ・アルツハイマー型認知症。
- ・アリセプトを診断後から服用中。
- ・副作用はない。

### 【質問】

服用開始はいつですか？  
認知症の進行について、薬は本人の場合に効果的ですか？

### 【回答】

- ・服用開始は数年前の診断直後からです。病状は確実に進行していますが、目立ったBPSDなどの出現はほとんどなく経過しています。そのことが効果的かどうかの結論にはなりません。そのような状況で過ごしているということです。

## (2) 身体的痛み、便秘・不眠・空腹等による苦痛の影響は考えられますか？

- ・歩き方や動作がとてもゆっくりになっている。
- ・指先の細かな動きがづらい。

### 【質問】食事・睡眠・活動のバランスはとれていますか？

【回答】・規則正しく生活しています。妻の話によると、現役で仕事をしていたときと現在の生活サイクルはよく似ているとのこと。

### 【質問】動きがゆっくりになったのはいつ頃からですか？

【回答】・失認の症状が出始めた診断3年後頃からだと思います。

### 【質問】動作が少ない為の廃用性の痛みや動きにくさのおそれはないですか？

【回答】・廃用性の痛みはないように思います。動きにくさは、失認による床面などの見えにくさが原因で起こっているように思います。

## (3) 悲しみ・怒り・寂しさ等の精神的苦痛、また本人の性格等の影響は考えられますか？

- ・告知も受けており、いつも「できなくて元々」とチャレンジすることが多く、前向きである。
- ・しかし、現実のこととしてできないことに直面すると、「自分だけでは何ともできない。」と話し、考え込んだり、ふさぎこんだりすることもある。
- ・病気のことをわかっているだけに、安易な慰めの言葉などには逆に怒ってしまったりすることもある。

### 【質問】「できなくて元々。」と言われる言葉は、病前からの口癖ですか？

【回答】・元気な頃からの口癖ではないようですが、病気と知っては自分を奮い立たせる様に口にしていました。

### 【質問】日常は前向きなことと塞ぎこむことのどちらが多いですか？

【回答】・7：3位の割合で前向きが多いですが、今後は変化がみられるかも知れません。

## (5) 家族・介護者など周囲からの過剰、あるいは少なすぎる関わりの影響は考えられますか？

- ・「家族のお荷物だけにはなりたくないんだ。」「家族みんなが元気で幸せでいてくれることが自分の生きがいなんだ。」と話し、とことんできるところまで、自分もがんばろうとしている。また、家族もAさんと共に、できる限りいろいろと工夫などをしてAさんを支えようとしている。
- ・いつも「みんな同じ(病気)だ。一人じゃないんだ。」と同じ病気の人たちへの心配りをしたり、それを自分の励みにしてがんばっている。

### 【質問】家族はみんな心配して、病気になったAさんを支えようとしていることを、Aさんはどのように思っているのでしょうか？

【回答】・感謝しています。感謝しながら、それに甘える部分と一人で頑張る部分の両方を持っているように思います。

## (8) 生活歴・価値観等に基づいた暮らし方と、現状とのズレによる影響は考えられますか？

- ・診断を受けたときはまだ仕事をしていましたが、その時に、「できなくなってきた事柄を一つずつ諦めてきた。」と話していた。そして、ついに退職せざるを得ない状況になったが、その時も自分のできなくなった現状を十分受け入れることができ、「せいっぱいやったからこれでいいんだ。」と話した。
- ・ぎりぎりまで自身でがんばった後は納得し、できなくなったことを受け入れていた。

### 【質問】「これでいいんだ」という言葉はたびたび繰り返して発言されるのですか？また、そうした面を誰にうちあけるのですか？

【回答】・これは退職時の言葉で、度々の発言ではありません。家族と主治医、私たちに話しました。

### 【質問】納得し、受け入れている様子はどんな表情や言葉で表現されるのですか？

【回答】・毅然とした表情で「無理なことは無理。次でがんばろう。あきらめてはいられない。」などいろいろです。それを私たちが勝手に納得や受け入れと決めてかからないように気をつけています。

## (4) 音・光・味・臭い・寒暖等感覚的な苦痛を与える刺激の影響は考えられますか？

- ・「字が真っ黒に見える。」など、見えにくさの訴えがある。
- ・床面の色の変わっている場所などでは、足の運びが止まり、怖々と動かれることもある。
- ・「たくさん説明されてもわからない。」「声も騒音になるんだ。」など、聞こえ方などについての不快感を訴える。

### 【質問】緊張する雰囲気、光の強さ、天候などによる見え方の変化を言葉にすることがありますか？ライトの反射による見えにくさなどの訴えはありましたか？

幻聴のように、他の音が不快感をよぶのですか？

### 【回答】

- ・騒々しさでわからなくなったり、早口や次々と話しかけると言葉が残らなくなったりするようです。どちらかといえば、静かな方が安心されるように思います。

本人の言葉や状態  
ワークシートC- に書いた、本人の言葉や行動を書き出し、関連のありそうな情報を整理してみましょう。

- ・書くときに、ホワイトボードの方へ視線は行くが焦点が定まらない様子で何度も手元とボードを行き来していた。Aさんに尋ねると、「重なって見えるんだ。画数が多いと真っ黒に見えるんだ。」等と言っていた。
- ・書くことを中止するという選択肢もあると話したが、「書けないようになるのはわかっているが、でも今はもう少し書き続けたい。」と話した。
- ・また、活動中、立ちつくしてしまったりすることもあり、Aさんは「さっきしていたことがなくなるんだ」等と言っていた。「でも今は最後まで活動についていきたいんだ」と話した。

## (6) 障害程度・能力の発揮に対して、住まい・器具・物品等物的環境による影響は考えられますか？

- ・ボードとAさんの座席との距離は、離れた席になっている。
- ・画数の多い漢字や太字のマーカーで書いたときに、見えにくさの訴えが多い。
- ・言葉だけで、説明することが多かったり、一気に物事を伝えてしまっている場面で、立ちすくんだりしていることが多い。

### 【質問】Aさんにとって今やっている環境はどのようなのでしょうか？

【回答】・座席などの調整は必要だと考えます。

### 【質問】Aさんが言葉で表現することは十分に気持ちを伝えてありますか？

【回答】・Aさんの言葉はほぼ言わんとしていることを表しているように思いますが、更に私たちの気付きは必要とされると思います。

### 【質問】または具体的に見せた方が、Aさんは深く意味を理解されますか？

【回答】・見ることについては、失認があるため、注意深い配慮が必要となってきたと考えます。

## (7) 要望・障害程度・能力の発揮と、アクティビティー(活動)とのズレによる影響は考えられますか？

- ・活動のしづらさが増してそれが症状からのものであるという自覚もあるが、がんばろうと思う気持ちもある。

### 【質問】活動のしづらさをAさんはどのように表現されますか？

【回答】・「できない。わからない。」と言葉で言うときもあれば、その場から離れる動きが見えることもあります。

### 【質問】ちょうどその時の力に合う程度の活動とは、あなたはどのように判断されているのですか？

【回答】・方法や役割をAさんと一緒にさがしてみます。それで活動してみても相談しています。

### 【質問】がんばろうとAさんが思うとき、あなたはどんな対応をしていますか？

【回答】・とりあえずは一緒にしてみますが、がんばらなくてもいいんじゃない？とAさんに伝えて、出来づらいことを受け入れてもらう選択をすることもあります。